



熱心に聴講する参加者

高精度歯車の鍛造

塑性加工学会 鍛造分科会 実務講座に約140名

用歯車に対する最近の要求と製造の対応」―摂南大学・加藤昭悟氏、▽「歯車用鋼材の開発動向」―新日本製鐵(株)・戸田正弘氏、▽「精密歯車鍛造用金型の製作技術」―(株)ニチタイ・濱家信一氏、▽「分流方式による歯車鍛造」―豊田工業大学・近藤一義氏、▽「歯車の冷間押し成形」―静岡大学・吉田始氏、▽「揺動鍛造によるハイポイドギヤの歯出成形工法の開発状況と今後の課題」―(株)コタニ・小谷誠一氏、▽「冷間歯車成形技術の実用化」―トヨタ自動車(株)・太田昌貴氏、▽「歯車の鍛造におけるサーボプレス」―(株)マツ産機・安藤弘行氏、▽「フオーマーによる歯車鍛造」―(株)阪村機械製作所・阪村芳一氏の各講演が行われた。

8日は、午前9時より、▽「熱間、冷間、機械加工、複合成形歯車の事例」―(株)コーシユー・奥村正氏、▽「CAEを利用した浸炭焼入れ変形の予測と対策」―日産自動車(株)・渡辺陽一氏、▽「超硬歯型の応力」―ひずみ線図と超硬合金歯型」―タイジエツト工業(株)・河原淳二氏、▽「各講演が行われ、午後からは場所をタイジエツト工業(株)本社(大阪市平野区)に移し、工場見学会を開催した。

7日は鍛造分科会・石川主査の挨拶で開会、午前10時より、▽「自動車

(株)日本塑性加工学会・鍛造分科会主催による第35回実務講座「高精度歯車の鍛造と周辺技術」並びに工場見学会が、2月7日・8日、大阪大学シグマホール(大阪府豊中市)とタイジエツト工業(株)において開催された。

鍛造技術の最新事例の紹介とあって、ねじ業界関連企業からも多くの参加者が集まった。